

第5次総合計画前期基本計画 令和5年度進捗評価

1. 第5次総合計画前期基本計画で定めた大綱別施策の柱の成果指標及び実施計画事業の活動指標の達成状況

(1) 成果指標の進捗

○：実績の数値が目標値を達成している 又は

実績の数値が前年(R3は基準値)より目標値に近づいている。

△：実績の数値が前年(R3は基準値)より目標値から離れている。

－：指標の数値が取れない。

	○			△			－			計		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
大綱1	6	4	4	6	8	8	0	0	0	12	12	12
大綱2	6	9	9	7	4	4	0	0	0	13	13	13
大綱3	5	7	11	8	6	2	0	0	0	13	13	13
大綱4	10	13	14	6	3	2	2	2	2	18	18	18
大綱5	10	12	10	6	3	5	0	0	0	15	15	15
計	37	45	48	33	24	21	2	2	2	71	71	71

(2) 活動指標の進捗 ○：R5目標値以上 △：R5目標値未満 －：指標未設置

	○	△	－	計
大綱1	64	36	0	100
大綱2	23	15	1	39
大綱3	77	23	0	100
大綱4	23	17	4	44
大綱5	40	17	1	58
計	227	108	6	341

2. 成果指標について

第5次総合計画前期基本計画における成果指標71のうち、数値が向上した(又は現状維持)指標は、48指標となっている。

○達成した主な成果指標は、次のとおり

【大綱1】 ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち(子育て・教育・健康・文化)

人や地域と関わりながら、住みやすい社会を作るために自ら行動しようとしている児童・生徒の割合が上昇した。コミュニティスクールが全校に導入されて2年目を迎え、学校と地域とのつながりが深まり、地域社会の一員としての自覚が高まったことによる。

【大綱2】 地域資源を活用した魅力あふれるまち(産業振興・観光交流)

コロナ禍の影響が落ち着き、売上げを伸ばした事業者により、相談窓口によるサポートを受けた事業者の売上増減割合の平均値が上昇した。急激な物価高騰等の影響もあり、創業件数は前年と同数となっている。

【大綱3】 安心・安全に住み続けられるまち(環境・防災・医療・地域福祉)

避難所と避難方法の認知率、地域防災訓練への参加者数が上昇した。コロナ禍により減少していた地域防災活動が復活したことが要因と考える。

【大綱4】 将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち(都市・交通・社会基盤)

裾野駅・岩波駅利用者数が上昇した。コロナ禍の影響が落ち着いたことが一因と考える。

【大綱5】 時代のニーズに応えられるまち(市民自治・都市経営)

令和4年度と5年度で市民意識調査の設問項目が異なるが、地域や団体などの活動の満足度が上昇した。全体の3割以上の市民が、地域活動が活発だと認識しており、経年の行政での支援が機能していることが伺える。

3. 活動指標

第5次総合計画前期基本計画の実施計画に活動指標(行政が成果に向けて行う活動)を掲げており、341指標中、227指標が目標を達成している。

4. 考察

今年度は、コロナ禍前の社会活動・市民活動に戻ってきた状況が伺える。また、市民意識

調査の設問を成果指標にしているものについて、設問の問い方が異なったためか、数値の増減が見られた。昨年度の実績と比較してなお、目標値に近づかなかった成果指標についても、更なる成果の向上を図るため継続的な取組みを進めていく必要がある。

5. 今後

後期基本計画の策定にあたり、前期基本計画（令和3年度～5年度）の評価を実施する。